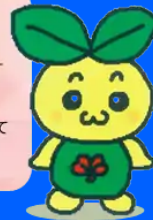


# 園長通信

イメージキャラクター

ふたぶう

高槻双葉幼稚園50周年を記念して誕生しました。幼稚園で子どもたちを見守ってくれています！



2025.1.01

園長 岡部 祐輝

## 1年のはじまりに・・・

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、様々に皆様にお世話になりありがとうございました。2025年が本日よりスタートいたします。どうぞ本年もよろしく願いいたします。

さて、新年のスタートに際し、各ご家庭でも願い、夢、目標などを新たに決め、お子様とともに過ごしていこうとされている方もおられるかと思えます。

そこで今回は、「目標や願いを持つこと」について考えていきたいと思えます。これは一般的には、「グリット」と呼ばれる力に関連しているといわれています。

**Guts (度胸) : 困難なことに立ち向かう能力**

**Resilience (復元力) : 失敗しても諦めずに続ける力**

**Initiative (自発性) : 自分で目標を見つける力**

**Tenacity (執念) : 最後までやり遂げる力**

(cf: アンジェラダックワース)

などがあります。そしてこの力はあと伸びすることが可能な力とも言われているため、教育や生活の中で、育まれていくことが考えられます。

しかし、幼児期の子どもたちは、年齢や個人差にもよりますが、「いろいろなことに興味があり、一つのことを最後までやり遂げることが難しい」ことや、「自分から目標や願いを言い出したのに、いつの間にか全然違うことになっている」など、一見すると、「わがままではないか」と思う場面も見られると思えます。

幼児期で特に私たち大人が、子どもたちの目標や願いを支えていく中で大切なこととしては、以下のことが一般的には挙げられます。

- ・子どもとともに、目標や願いへのアプローチや道筋を考える。
- ・子どもとそれぞれの目標に向かい、一緒に頑張る (頑張るチームやコミュニティにいと、本人のモチベーションも上

がりやすくなります)

・ **結果ではなく、取り組んだ過程を承認する。** (cf: キャロル・デュエックの研究より)

・ **子どもが持っているつよみをこう活かすと、目標や願いに届くかもしれないことを共有する。**

(例: あなたは野球でバットに当てることはとてもうまいので、ホームランじゃなくてヒットを狙ってみたらどう?)

・ **失敗した時や振りかえるときに、その中でも「よかったこと」、「うまくいったこと」など肯定的な部分を言語化する。**

以上のようなことが、周りのことな援助・支援として大切になってくると考えます。

私たち園でも、日々子どもたちの目標や願いを目の前で見かけます。特にこれからの時期は、「ドッジボールで勝ちたい」、「長い時間、独楽を回せるようになりたい」など技術向上的なことへの願いなども年長を中心にみられるようになります。

幼児期は、「結果がすべて」ではなく、「過程でどう進めようとしてきたか」、「何ができたか→何が育とうとしたか」という視点で、子どもたちの日々の成長を支援していきたいと思います。

